

（開基100年事業記念モニュメント） クロニクル・スパイラル の安全管理について



問 開基100年記念事業として建設された

るところである。

危機管理と安全な公園維

持の観点から、しかも製作者に十分配慮しながら、抜本的な対応を講ずるべきと考える。多くの方々が濃密にこの作品を鑑賞できるよう、周囲の安全網の配置や形態を改善すること、また、将来仮に「役割消滅後撤去」となっても、何らかの形でこの芸術作品を後世に遺すべきと思う。

そこで、このモニュメントを今後どう保存していくのか、記念事業目的達成と捉え取り壊すのか、その際新たなモニュメントを建設するのか、町長の考えを伺う。

町長

本町の開基100

年記念事業として、平成8年に、発祥の地記念碑広場を構成する一つとして、制作された作品である。

作品は、猿別川の渦をモチーフに、伸び行くハルニ

レと巨大な岩を丸太とレンガが取り囲み、永遠と生命を象徴する螺旋形で先人の努力と人々が未来に発展するエネルギーを表している。

この作品は、建物などの一般的な構造物とは異なり、作品が朽ち果てることも制作者の意図であり、その過程も作品の一部であること、また、現状においても芸術作品としての存在価値があること、更には、周辺環境との調和も保たれているものと考えている。これまでも、危険防止の観点から、制作者のご理解をいただきながらチェーンやネットなどの安全対策を実施し、今後必要な際には安全対策など管理に十分意を用いながら、保存を図って参りたい。

いずれは、作品としての役割が消滅する時期が到来し、完全に撤去ということになるが、その後に新たにモニュメントを設置することは、現在のところ考えていない。



開基100年事業記念モニュメント(クロニクル・スパイラル(螺旋譜))